

海外安全対策情報（平成28年度第1四半期）

1 社会・治安情勢

（1）テロ関連動向

5月21日、イスラム過激派組織 ISIL は、ラマダン期間中のテロを広く呼びかける声明をインターネット上に公開しました。同声明では、特に欧米諸国におけるテロの実行を呼びかけていることから、民間人を対象としたいわゆる一匹狼（ローンウルフ）型のテロの発生も懸念されます。

また、6月8日には、スラバヤ市内においてラマダン中のテロを計画していた容疑で3名が逮捕され、その後、関連でさらに複数人が逮捕されています。これら容疑者は、スラバヤ市内において、本年1月にジャカルタで発生した爆弾・銃撃事件のようなテロを計画していたということで、捜索では手製爆弾、ライフル銃、空気銃、手製けん銃、実包等が押収されているとのこと。

今やテロはどこでも発生する可能性があり、旅行者や大勢の人が集まる場所等はテロの標的となり得るものという認識が必要です。引き続き、テロ関連情報にはご注意下さい。

（2）デング熱への注意

デング熱が流行しており注意が必要です。当地保健当局によれば、バリ州内のデング熱は4月にピークを迎え、同月内だけで罹患者数が3,600名以上に上り、うち13名が死亡しているとの由です。5月、6月と患者数は次第に減少しているとのことですが、引き続き防蚊対策を徹底するなどしてデング熱の予防に努めて下さい。

（3）麻薬・薬物への注意

インドネシア当局は、引き続き薬物犯罪の摘発を強化しており、バリにおいても逮捕事案が続いています。インドネシア当局は外国人に対しても死刑を含む重い判決を下しており、薬物犯罪に対し厳しい姿勢で臨んでいます。薬物には絶対に関与しないようにして下さい。また、薬物が使用されているような危険な場所には近寄らないようにしてください。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）犯罪傾向

観光客が多く集まるクタ・レギャン地区を中心に、外国人旅行者を狙ったと見られる「ひったくり」「スリ」といった盗難被害が依然発生しています。

中には被害者から集団で貴重品を奪い取る強盗事件も発生しています。また、上記エリア以外でもバイク使用の犯人によるひったくりが発生しています。

(2) 邦人被害事案

邦人の事件・事故について、パスポートを盗まれる等し、当館へ報告された事案は以下のとおりです。

ア レギャン通りでの強盗、スリ被害

日付	時間	被害種別	犯人	被害者・参考事項
4月29日	午後10時ころ	スリ (話し掛け)	数名	男性1人、旅券・財布等被害
5月19日	午後8時ころ	強盗	4人組	女性1人、財布被害

※ 当館で内容が確認できた被害のみ記載

イ ひったくり被害（上記以外）

- (ア) 4月21日午後11時頃、クロボカン地区において歩きながら携帯電話を操作していたところ、バイクに二人乗りした犯人に携帯電話をひったくられた。
- (イ) 5月4日正午頃、サヌール地区を自転車で走行中、バイクに乗車した犯人に自転車の前カゴに入れておいたバッグをひったくられた。
- (ウ) 6月12日午後2時頃、クタ地区サンセット通りを散歩中にバイク乗車の犯人に持っていたバッグをひったくられそうになり、バッグを強く押さえて抵抗したためバッグは取られなかったが、転倒し軽傷を負った。

ウ その他被害

(ア) ホテル客室への侵入盗

6月14日午前1時頃から午前5時頃までの間、クタ地区所在のホテルにおいて、客室のドアを無施錠で就寝中、何者かに室内に侵入され、机の上に置いておいた現金・旅券等を盗まれた。

(イ) 置き引き

- a 4月11日午後4時頃、デンパサール市内において、運転手に待っているよう告げタクシー内に携帯電話等を置いたまま車両を離れ、戻ってきたところタクシーがいなくなっていた。
- b 6月5日午前5時頃、クタ地区のコンビニにおいて、店外のテーブルにバッグを置いて入店し、買い物を終えて出てきたところバッグがなくなっていた。
- c 6月12日午後7時頃、デンパサール市内のレストランにおいて7名のグループで食事中、椅子の背もたれに掛けておいたバッグが盗まれていた。当

時店内は非常に混雑しており、グループの誰もが犯行に気付かなかった。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件は発生していません。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

誘拐・脅迫事件は発生していません。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

日系企業の安全に関わる問題は発生していません。

以上